

インターネット犯罪の現況と 対策について



令和3年8月23日
宮城県警察本部
サイバー犯罪対策課

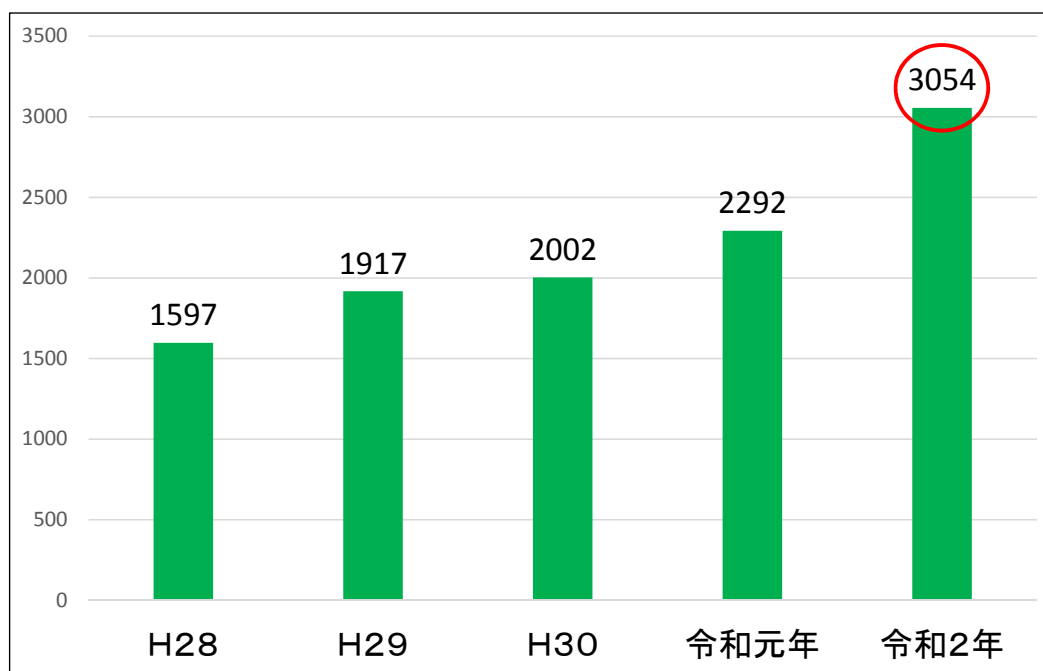
1

サイバー空間の現状

～令和2年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について～

情勢概況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うテレワークの実施やキャッシュレス決済の普及など、サイバー空間が、日常生活を含む様々な活動を営む場となりつつある中、新たなサイバー犯罪やサイバー攻撃が国内外において発生している状況にあり、サイバー空間における脅威は、**極めて深刻な情勢**。



サイバー犯罪に関する相談受案件数の推移

サイバー犯罪に関する相談受案件数

サイバー犯罪に関する相談受案件数は増加傾向にあり、令和2年中の相談受案件数は3,054件と、過去最多となった。

3

最近の懸案事案と被害防止対策

- インターネットバンキングに係る不正送金事犯
- 偽サイト・詐欺サイト

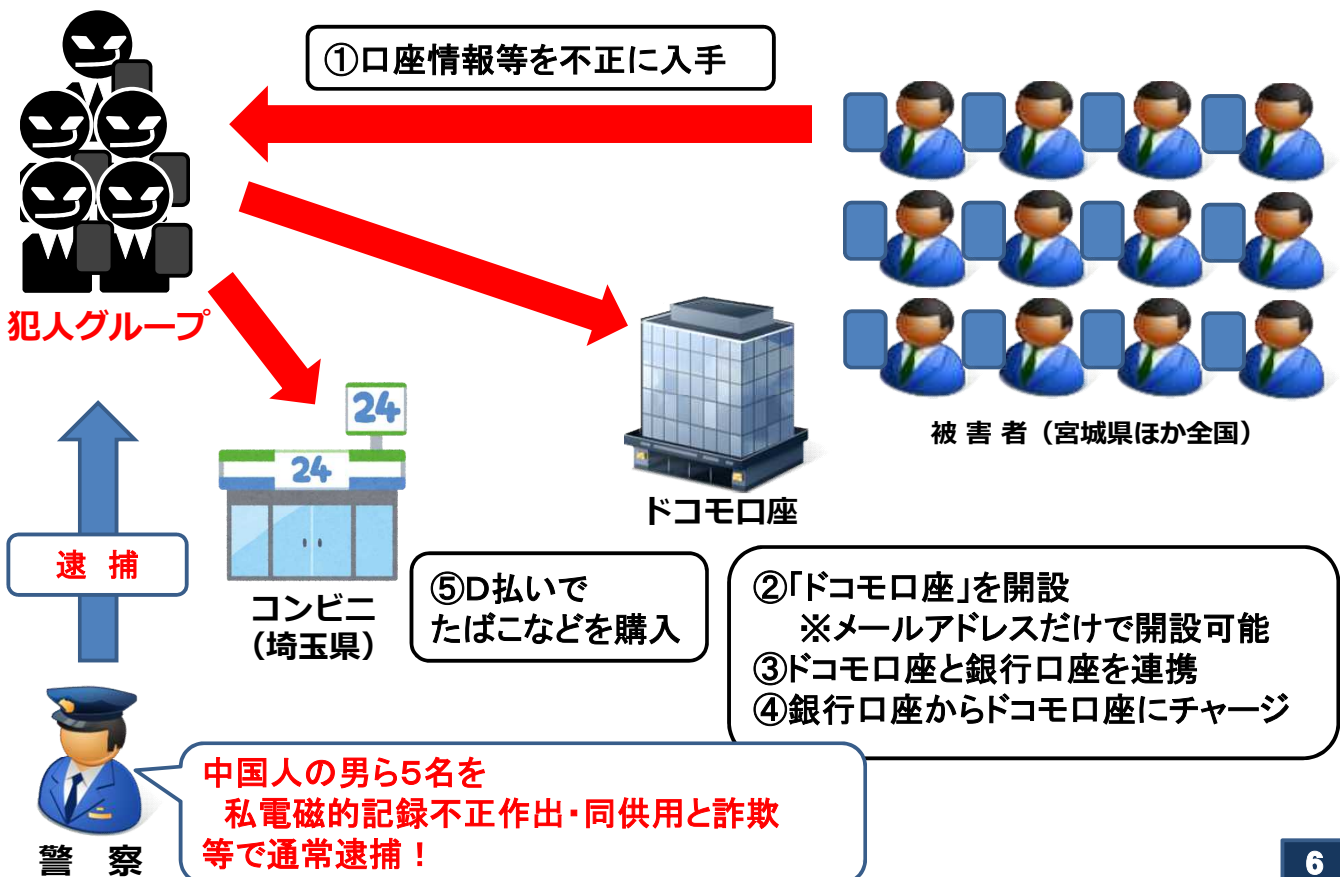
4

キャッシュレス決済の不正利用



※ キャッシュレス決済とは、クレジットカードや電子マネーなどを利用して、紙幣・硬貨といった現金を使わずに支払い・受け取りを行う決済方法のこと。

ドコモ口座を悪用した不正送金事件（令和3年1月検挙） （宮城・埼玉等11府県合同捜査本部、警視庁サイバー犯罪対策課）



被害防止対策「キャッシュレス決済の不正利用」

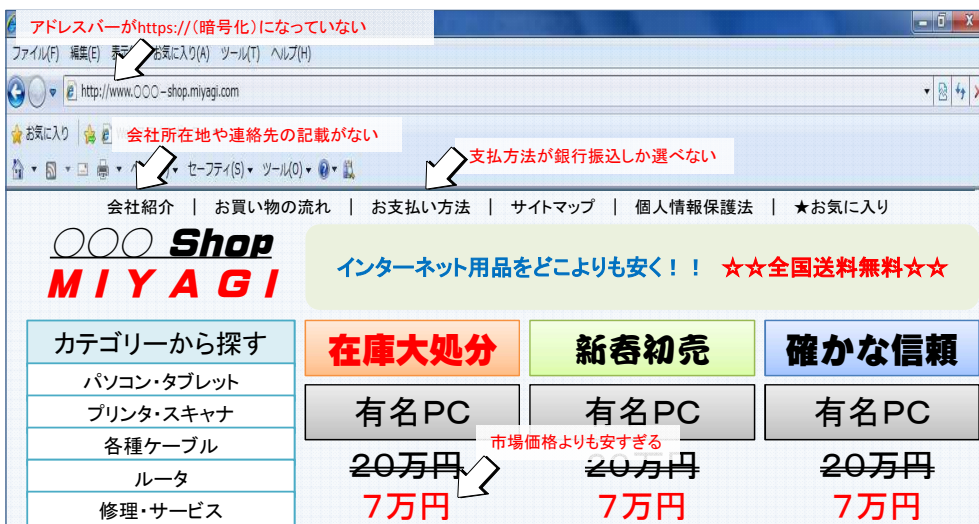
1 基本

- ・ **フィッシングによるアカウント情報の漏えいに注意する**
 犯人は、「キャリア決済が不正に利用された可能性がある」などと通信事業者を装うメールで偽サイトに誘導し、そこでIDとパスワードなどのアカウント情報を入力させようとすることから注意する。
- ・ **IDとパスワードの使い回しをしない**
 犯人は、過去に漏えいしたパスワードをリスト化し、総当たりでログインを試みる傾向があるため、IDとパスワードの使い回しをしないよう注意する。
- ・ **クレジットカード情報の漏えいに注意する**
 犯人は、何らかの方法で流出したクレジットカード情報を入手しており、その情報を悪用していることから、クレジットカード情報の漏えいに注意する。

2 高度なセキュリティ対策の利用

- ・ **ワンタイムパスワードの利用**
 一定時間ごとに自動的に新しいパスワードに変更され、しかも、一度しか使うことができないパスワードであり、不正利用被害のリスクを低減させる。

偽サイト・詐欺サイト



実在する企業やショッピングサイトなどに似せて作られた「偽のサイト」に関する相談が多く寄せられています。

偽サイトには、代金を支払っても商品が発送されないものや、個人情報やクレジットカード情報等を盗み取るものがあります。

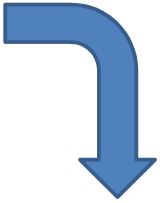
偽サイトの特徴 ～ひとつでも該当すれば偽サイトの可能性～

- 1 サイト運営者・連絡先の記載がない
- 2 サイトの日本語が不自然である
- 3 個人情報や決済情報を入力する際のページのアドレスバーに「https://～(通信を暗号化する鍵マーク)」がない
- 4 支払い方法の説明と実際の決済画面とで、対応可能な支払い方法が異なっている
- 5 商品の価格が市場価格よりも安すぎる

最近の事例 「佐川急便の偽サイト」

通知
お客様宛にお荷物のお届けにあがりましたが不在の為持ち帰りました。
配送物は下記よりご確認ください。
<https://XXXX/sagawa> ←不審なリンク先 (佐川急便の偽サイトが表示)

お客様宛にお荷物のお届けにあがりませんが不在の為持ち帰りました。
配送物は下記よりご確認ください。
<https://XXXX/sagawa>



②URLクリックしてアクセス

①不在通知を装ったSMSメッセージ

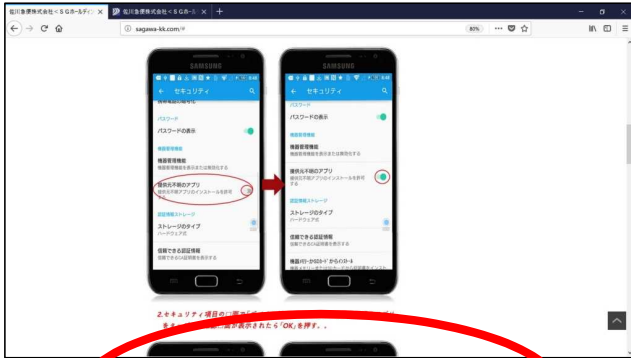


③佐川急便アプリを装ったウイルスをダウンロードし、ウイルス感染

最近の事例 「佐川急便の偽サイト」



①セキュリティをタップ



②提供元不明のアプリのインストールを許可



③インストールをタップ

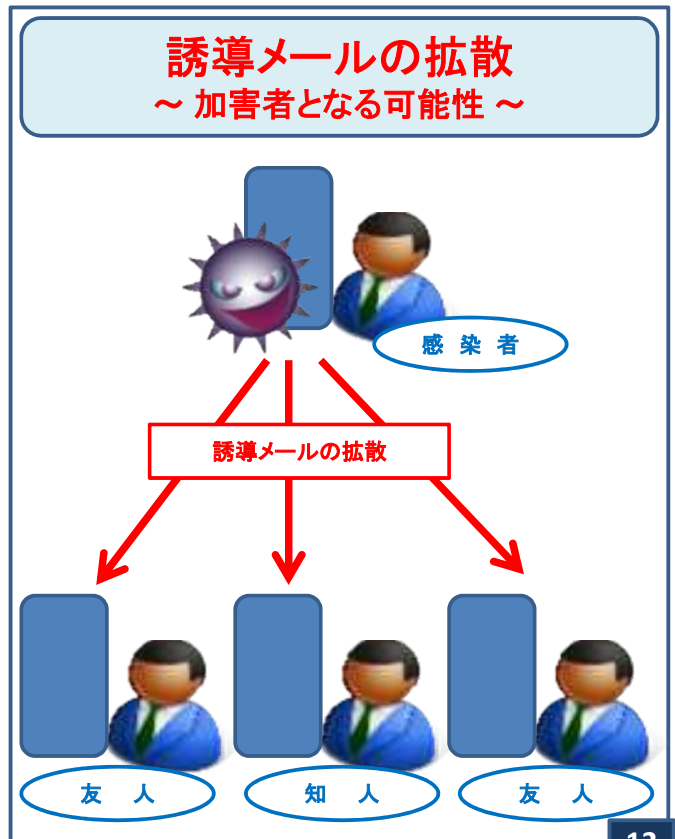
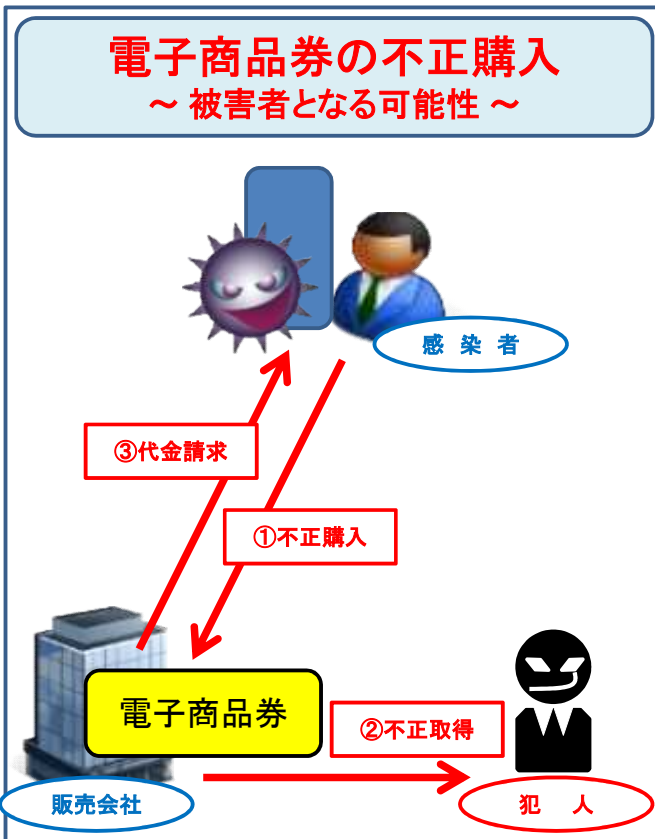


④「開く」をタップすると荷物の確認ができると表示

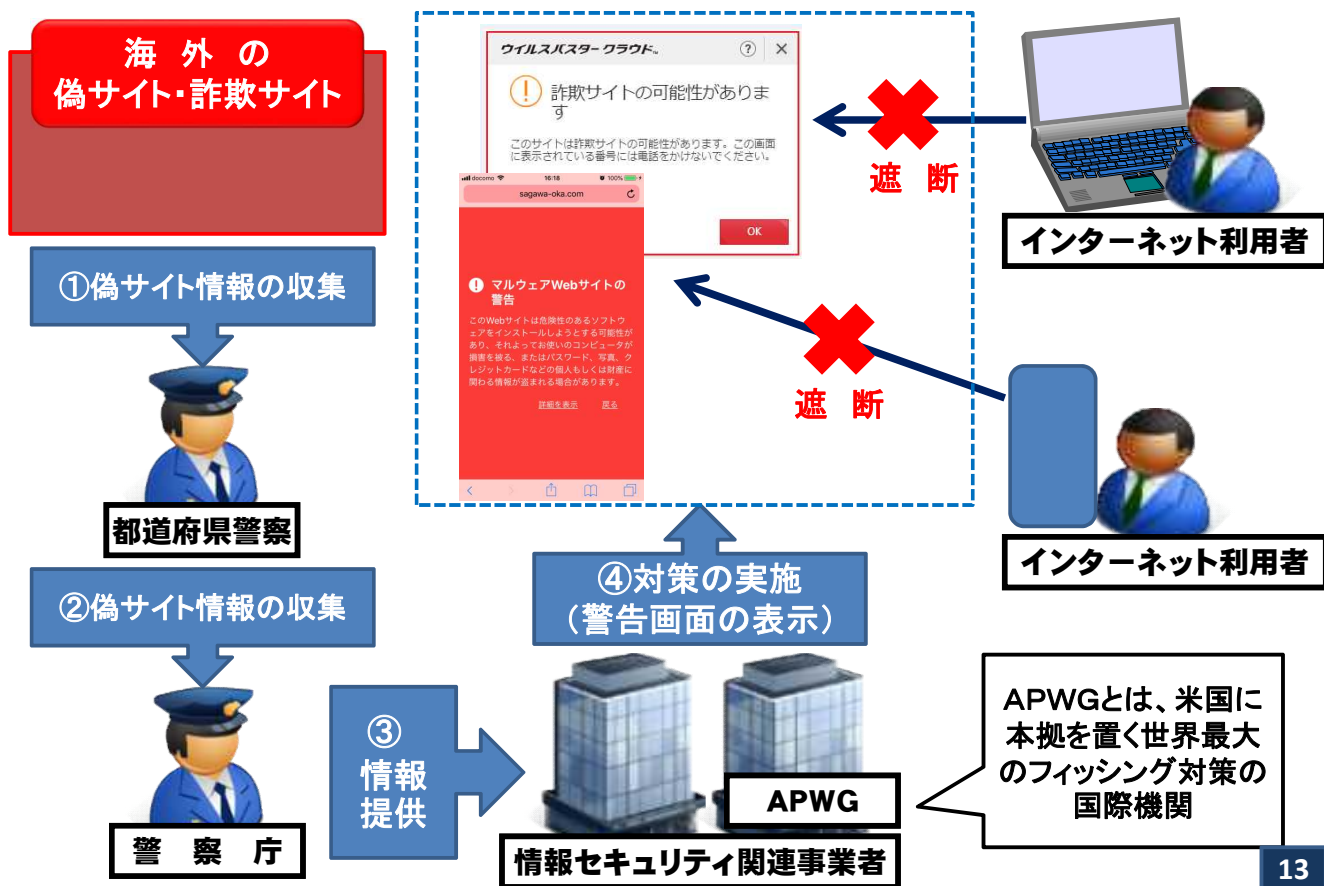
使用した端末の種類によって偽サイトの挙動が違う



ウイルス感染による影響 ～ Android端末の場合 ～



警察による海外の偽サイト・詐欺サイト対策



総合的なサイバー犯罪対策を積極的に推進

個人被害防止対策

各種講演会（オンライン含む）、ラジオ広報、広報紙、ホームページを活用した広報などあらゆる手段を活用した積極的な注意喚起を実施

法人被害防止対策

宮城県サイバーセキュリティ協議会

会長 東北大学 情報シナジー機構特任教授 曾根秀昭
副会長 宮城県企画部長
宮城県警察本部サイバーセキュリティ統括官
事務局 宮城県企画部デジタルみやぎ推進課
宮城県警察本部サイバー犯罪対策課
顧問 宮城県知事、宮城県警察本部長

会員等から得られた脅威情報等を戦略的かつ迅速に情報共有

地方公共団体等 対策実施
重要インフラ事業者 対策実施
民間企業 団体 対策実施
サイバー関連事業者 対策実施
教育機関 対策実施

サイバーセキュリティの確保の推進

県民の安心・安全の確保、経済社会の活力向上等に寄与

サイバー犯罪の徹底検挙

新たなサイバー犯罪の先制的検挙をはじめ、サイバー犯罪の徹底検挙を目指す（ドコモ口座を悪用した不正送金事件等を検挙）

サイバー防犯ボランティア活動の活性化

サイバー防犯ボランティア活動の活性化を図り、インターネット上の違法・有害情報対策を推進